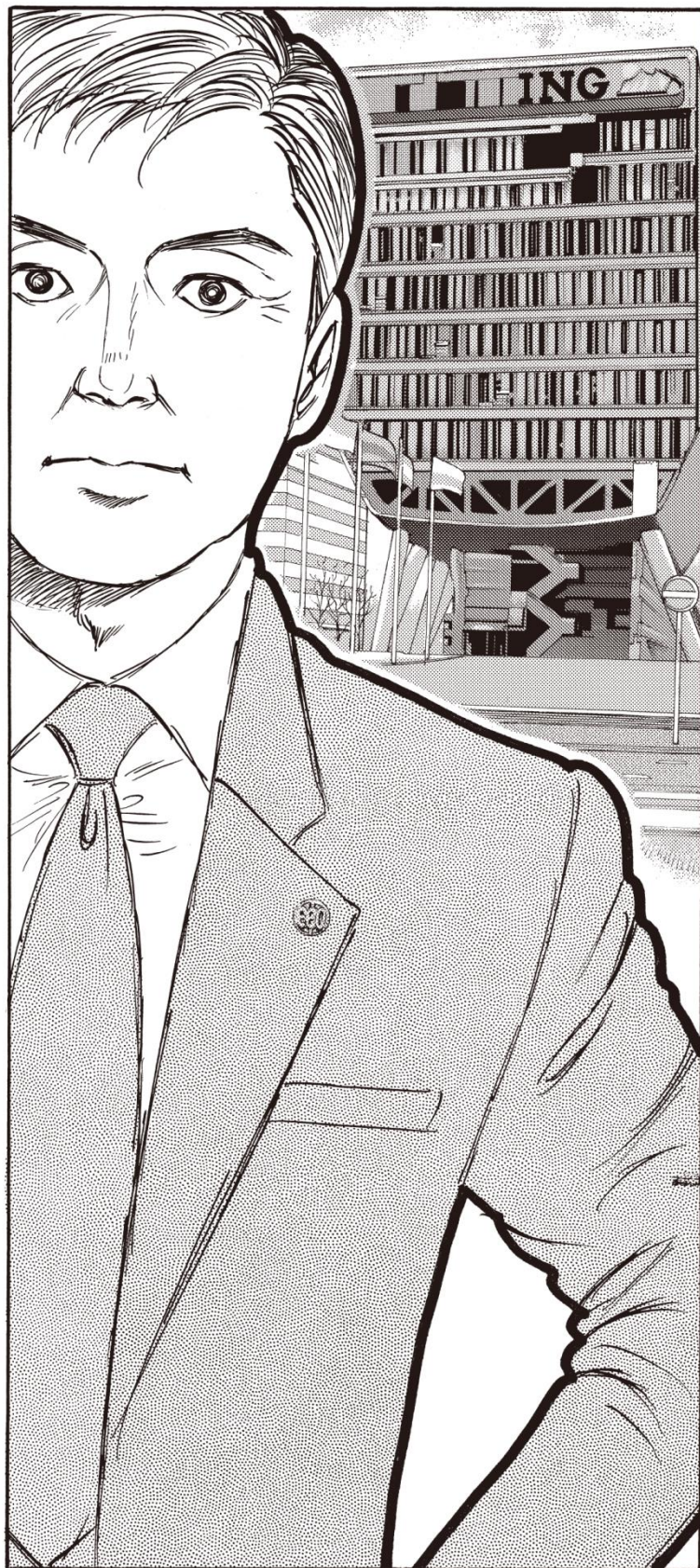


会長 島耕作

Chairman
SHIMA KOSAKU



日本を変えるチャンス求めて——島耕作が動く。新章「オランダ編」第2回！



日本の未来を左右する先端農業の視察がスタート！

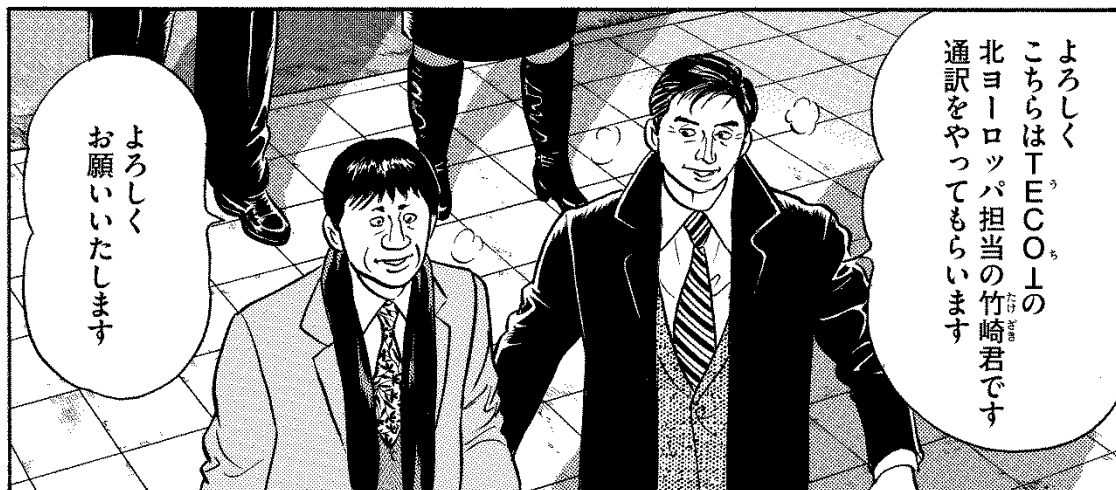
農林水産省
大臣秘書官室
鈴木 英男

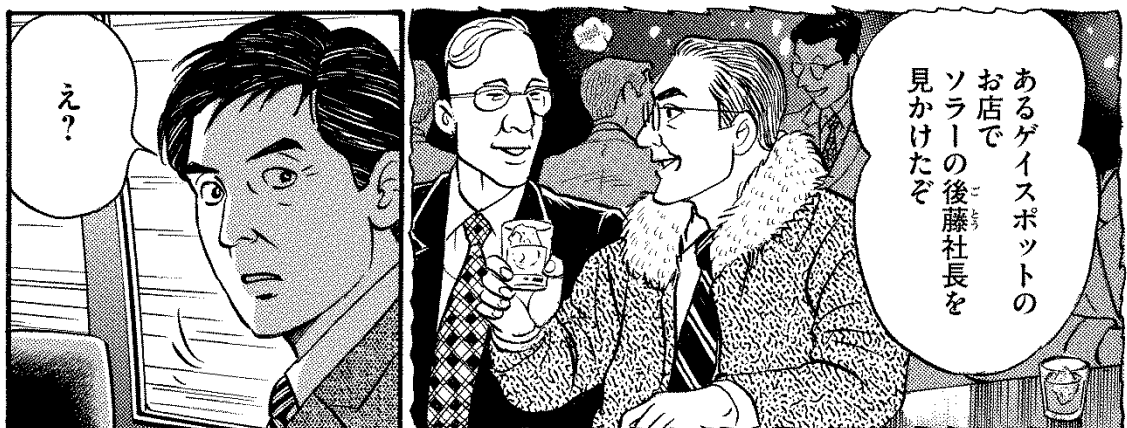
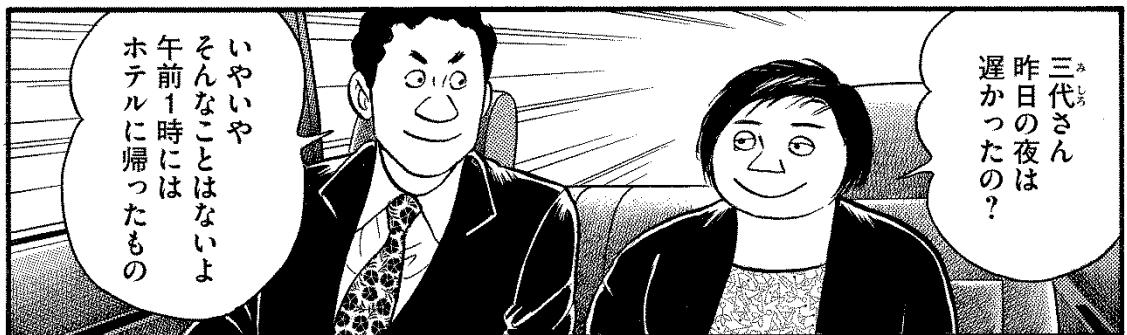
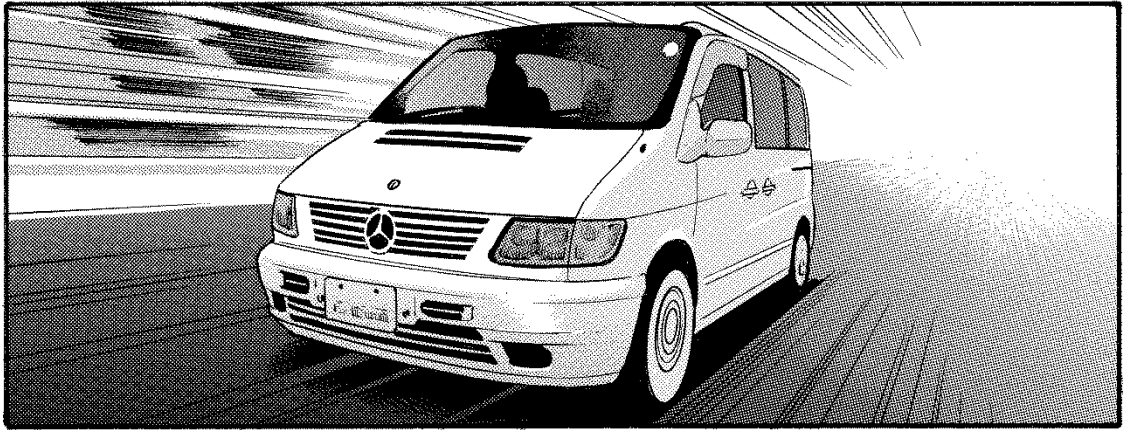
すみません
昨日は一緒に
できませんでした
今日からの工場見学には
同行させていただきます



よろしく
こちらはTECOの
北ヨーロッパ担当の竹崎君です
通訳をやっております

よろしく
お願いいたします





あ そうそう
ソラーの社長は
3日前からアムスに
来られていますよ

というより
ゲイバーに後藤社長が
出入りしていたというのが
気になりますね

後藤さんて
三代さんのお仲間
なのかしら？

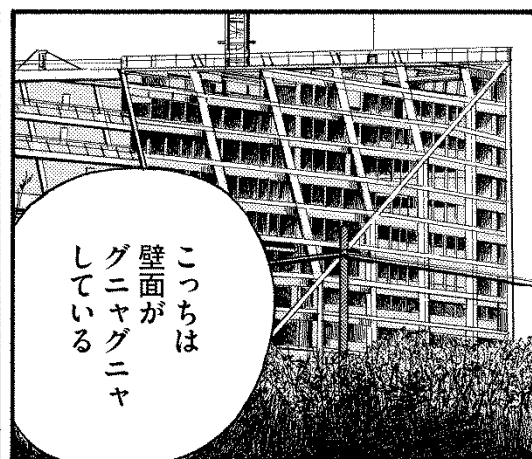
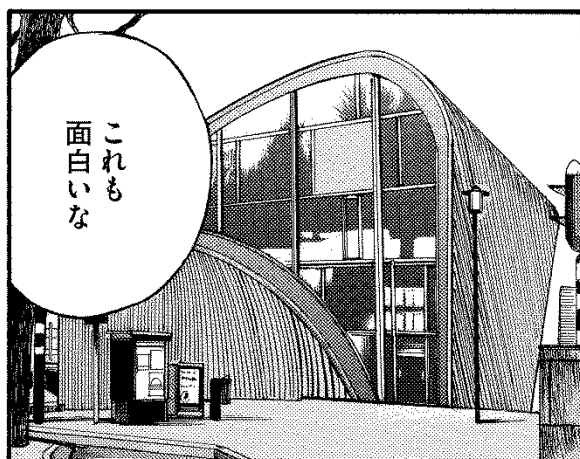
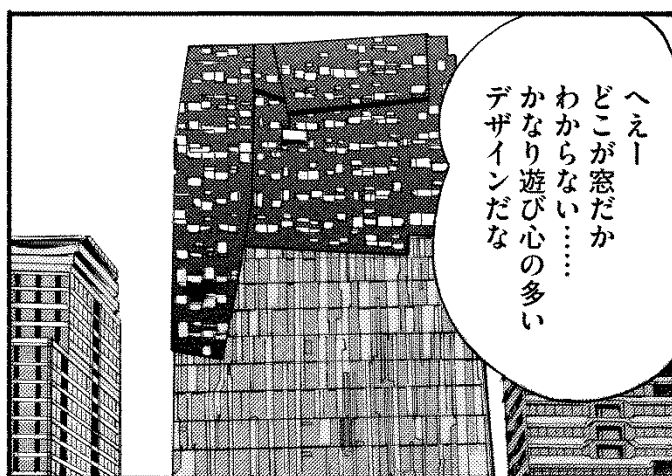
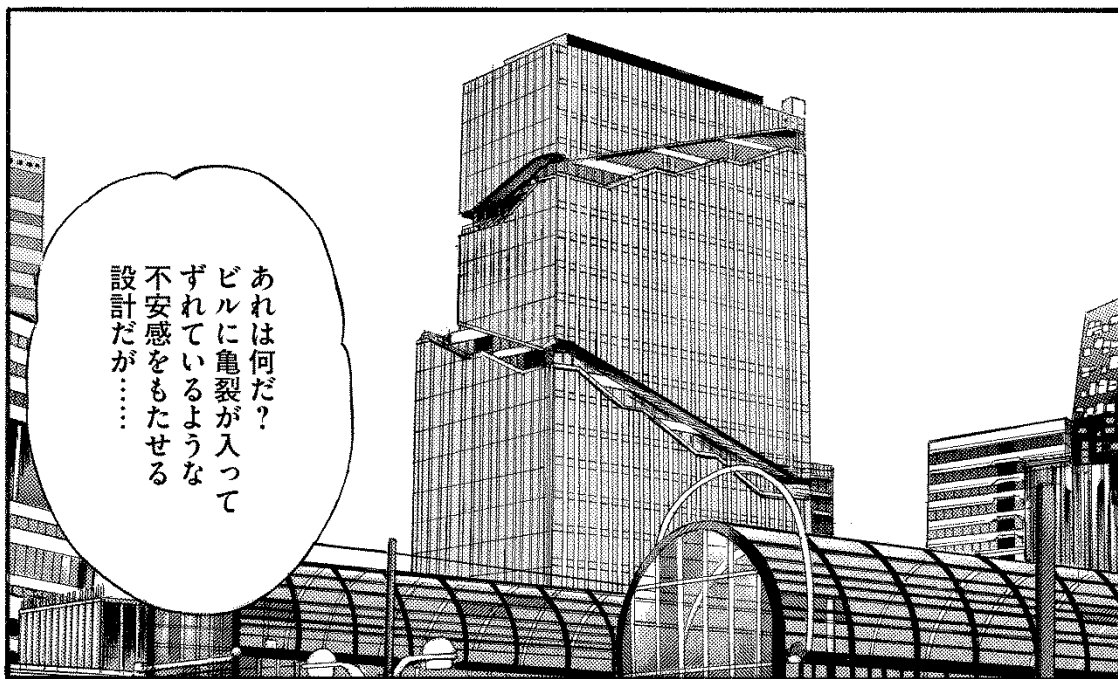
いや それは
わからない

会話は交わさ
なかったけど
ずいぶん
その雰囲気には
慣れているような
感じはしたな

というより
彼がオランダに
来ていると
いうことは
やはりソラーも
農業ビジネスに
乗り出そうと
しているのかな

その方が
気になる

島会長
ごらん下さい
オランダの建築物って
ずいぶんユニークでしょ

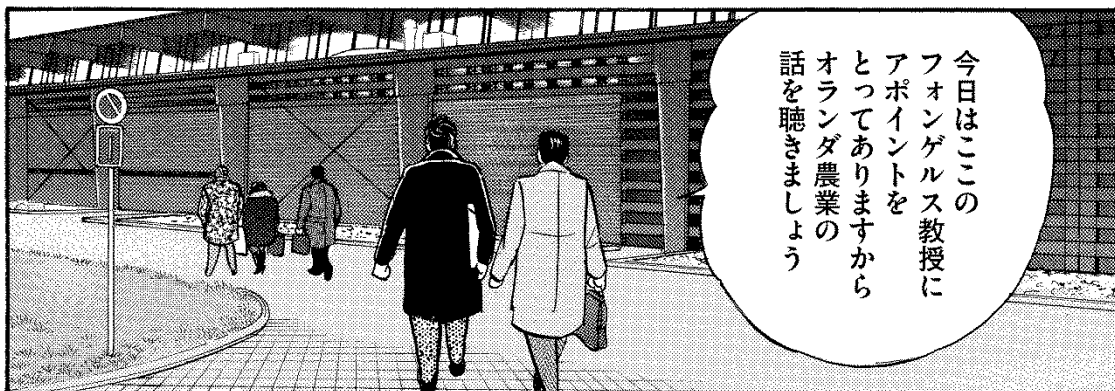
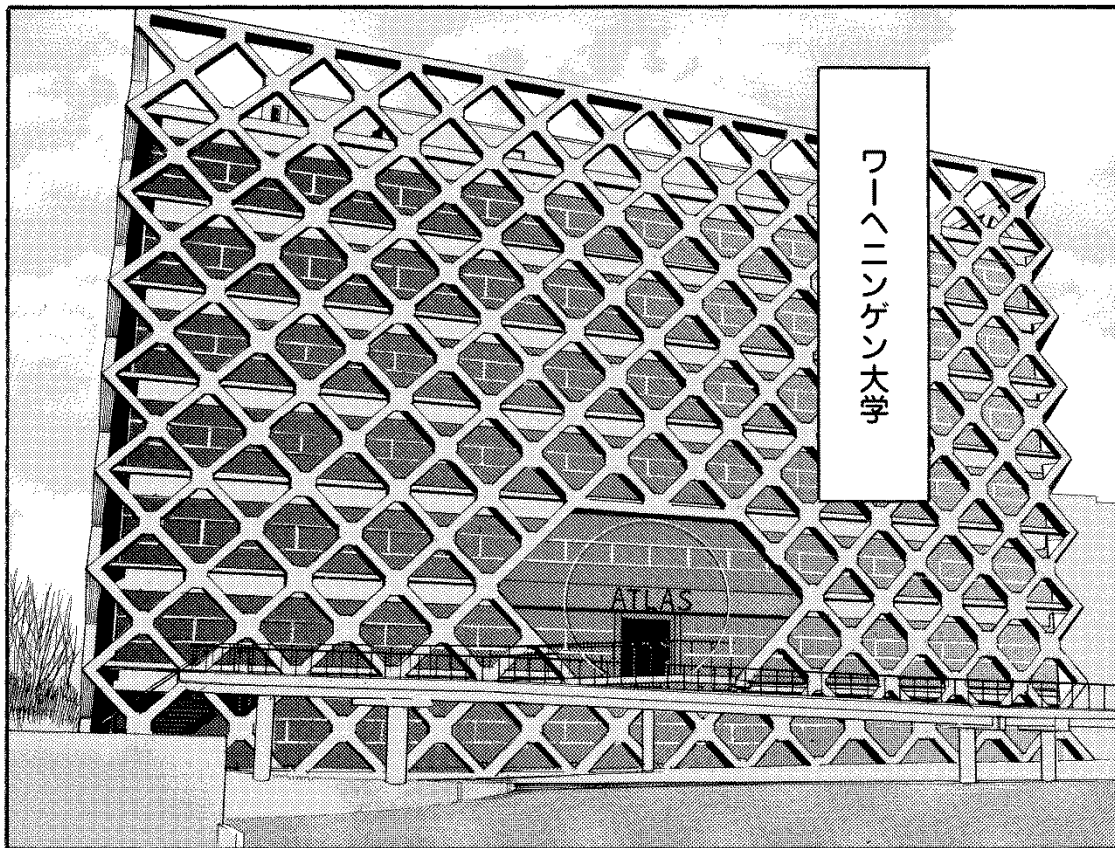


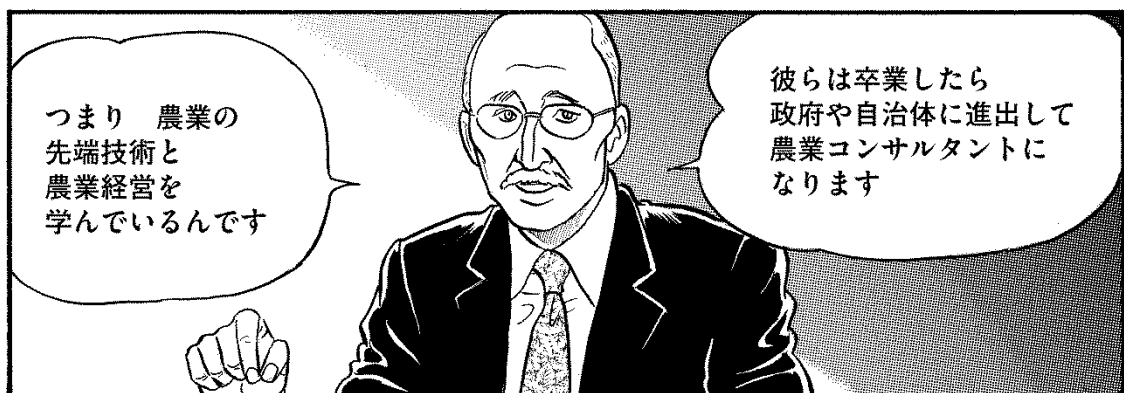
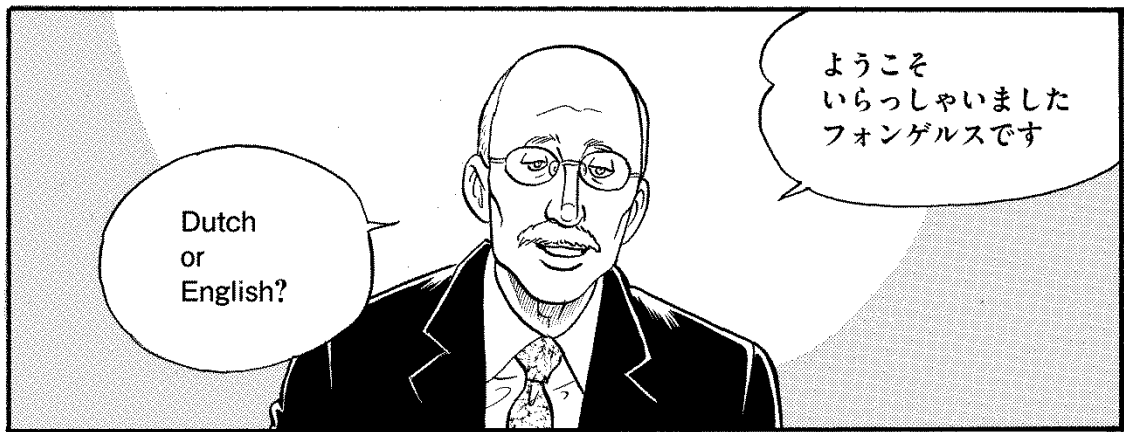




対照的ですね

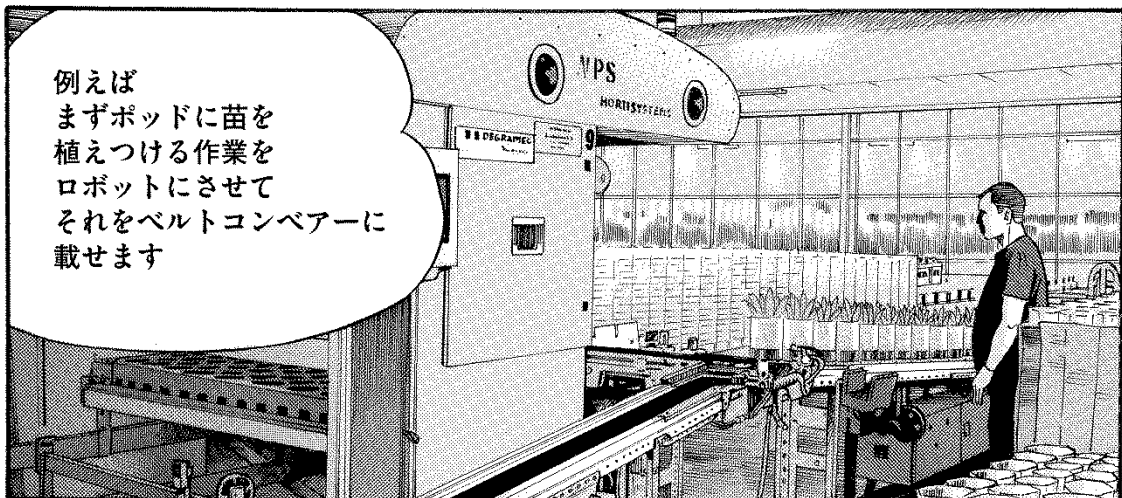


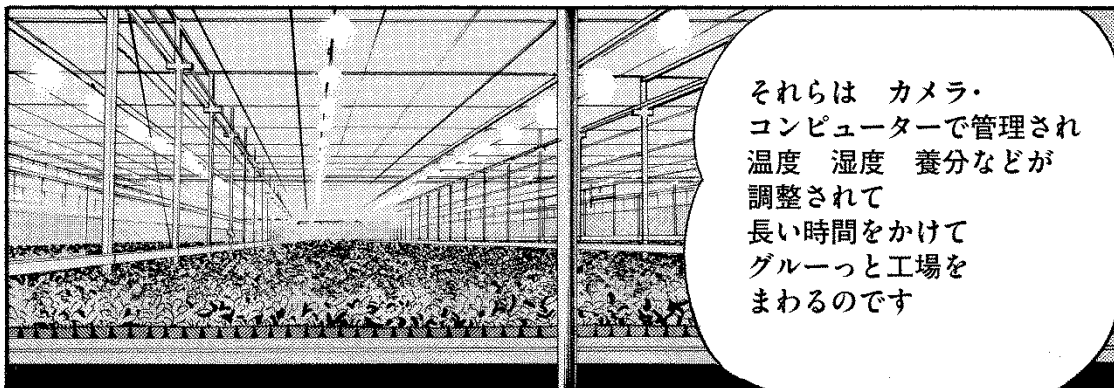






その通りです





それらは カメラ・
コンピューターで管理され
温度 湿度 養分などが
調整されて
長い時間をかけて
グルーっと工場を
まわるのです



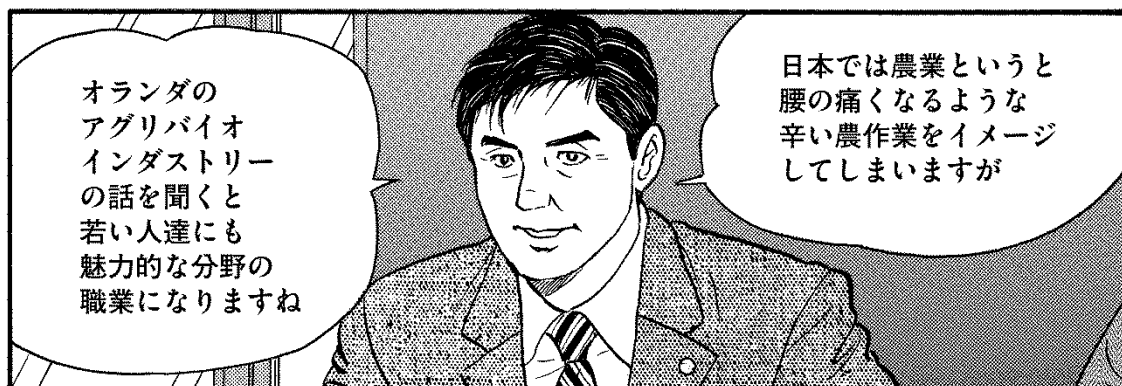
数ヵ月後に
出荷できるまでに
生長して
ラインの最終地点に
到着します



そこで梱包などの
単純作業がありますが
ここでは人手を要します

多くはポーランドや
ルーマニアから
出稼ぎに来た
作業員が担います

こういった総合的な
農業の経営方法も
この大学では
研究しています



オランダの
アグリバイオ
インダストリー
の話を知ると
若い人達にも
魅力的な分野の
職業になりますね

日本では農業というと
腰の痛くなるような
辛い農作業をイメージ
してしまいますが



そうですね それと
日本との大きな違いは
日本の農業は
選挙の票獲得のために
政治に関わりすぎている面が強く
農家が自ら努力するという
モチベーションがありません
手厚い庇護政策がかえって
農業をダメにしています

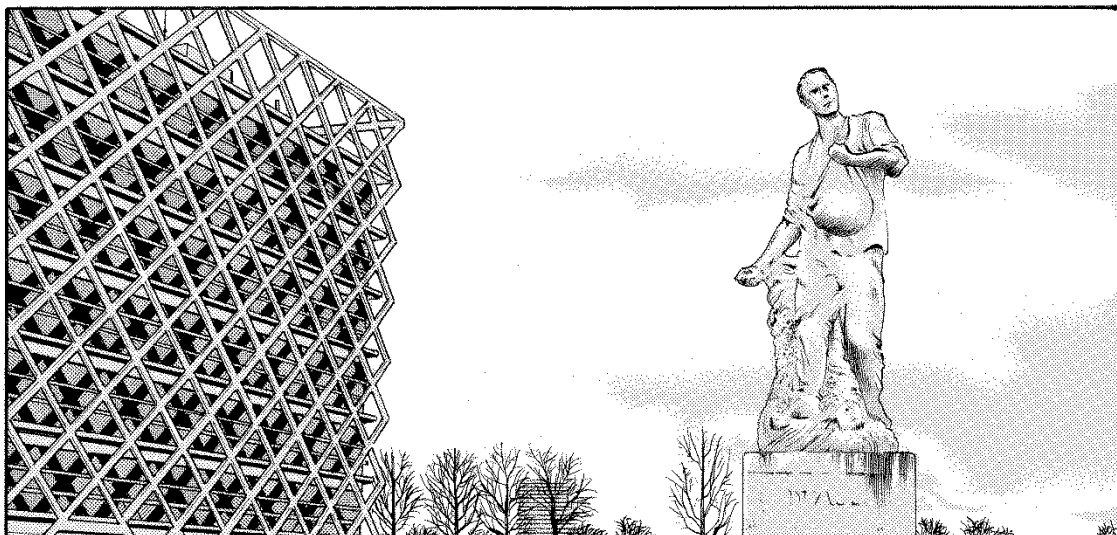


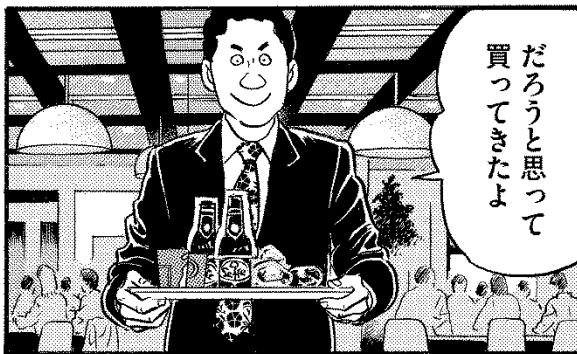
おっしゃることは
非常によく
わかります

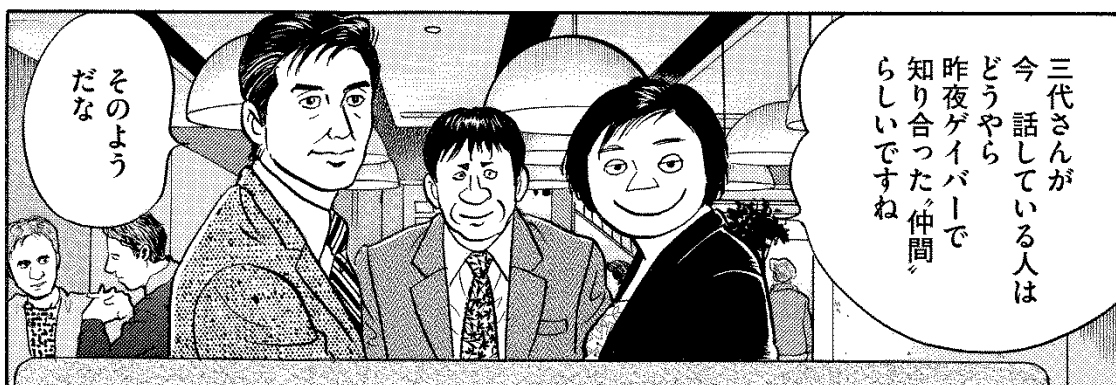


オランダでは農民は自己の責任で
努力してやっています
政府は音頭をとらずに
資金や施設を促進する役割だけです

むしろ我々のような研究所や
産業界が音頭をとっている
いかに品質をよくしコストを下げて
付加価値をつけるか……
研究と産業が一緒に
問題意識を持って それにあたります







ソラー社長・後藤の目的は、仕事かプライベートか——？ 島との対面まで後[?]分！



『会長島耕作』単行本第②巻より抜粋